



Windows 95 モデル

ソフトウェアガイド・ダイジェスト

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書では次の項目を説明しています。

はじめに	4
添付のマニュアルについて	4
製品の呼びかた	4
FMV マニュアルの参照	4
セットアップ	5
Windows セットアップ	5
ユーザー登録について	6
Windows 起動ディスクを作成してください	6
ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ 起動ディスクのコピー	6
プログラムが動かなくなったときは	7
Windows が正常に起動しないときは	7
再インストール	9
インストールの準備	10
ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ 起動ディスクについて	10
標準搭載以外の CD-ROM ドライブを使うには	10
ハードディスクの圧縮を解除する	11
ハードディスクの領域を設定する	11
OS / ドライバのインストール	13
Windows の新規インストール	13
マザーボードインフォメーションファイルの インストール	15
USB サポートのインストール	15
マザーボードインフォメーションファイルの インストール	15
ハードディスクの DMA の設定	16
西暦 2000 年問題に関する留意事項	16
ドライバおよびユーティリティの インストール	17
LAN ドライバのインストール	17
DirectX8.0 のインストール	18
ディスプレイドライバのインストール	18
光磁気ディスクドライバのインストール	19
SCSI ドライバのインストール	19
3 モードフロッピーディスクドライバの インストール	20
プリンタの設定	20

ブレインストールソフトのインストール	21
Internet Explorer 4.01 SP2 のインストール	21
Windows 環境調査ツール (WinDiag) の インストール	22
Acrobat Reader のインストール	22
FM 一発修正のインストール	22
ソフトウェアライブラリのアップデート	22
アップデート方法	22
添付ソフトについて	22

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本パソコンにインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権
お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本パソコンでのみ使用できます。なお、お客様は本パソコンのご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
2. バックアップ
お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。
3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み
本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
4. 複製
(1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2」および「3」の場合に限定されるものとします。
本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。
ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
(2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。
5. 第三者への譲渡
お客様が本ソフトウェア（本パソコンに添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本パソコンに添付されている媒体を本パソコンとは別に第三者へ譲渡することはできません。
6. 改造等
お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
7. 保証の範囲
(1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本パソコンをご購入いただいた日から 90 日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。
また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）がある場合、本パソコンをご購入いただいた日から 1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
(2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
(3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記 (1) の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
8. ハイセイフティ
本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

記

原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

マイクロソフト製品サービスパック

Microsoft® Windows® をご利用のお客様がより安定したシステムを運用していく上で、マイクロソフト社はサービスパックを提供しております (<http://www.microsoft.com/japan/>)。

お客様は、最新のサービスパックをご利用いただくことにより、その時点でマイクロソフト社が提供する Microsoft® Windows® にて最も安定したシステムを構築できます。

したがって、当社としては、最新のサービスパックをご利用いただくことを基本的には推奨いたします。

ただし、お客様の環境によっては、サービスパック適用により予期せぬ不具合が発生する場合がありますので、ご利用前にはサービスパックの Readme.txt を必ずご確認ください。

また、万一、インストールに失敗したことを考慮し、システムのバックアップを取ることを推奨いたします。

はじめに

添付のマニュアルについて

本パソコンには、次のマニュアルが添付されています。

- はじめにお読みください
梱包物一覧、および最初に行う操作などを説明しています。
- ハードウェアガイド・ダイジェスト
パソコン本体の各部の名称、電源の入れ方など、『ハードウェアガイド』から抜粋した内容を記載しています。
なお、お使いの OS 以外の情報もありますが、ご了承ください。
- ソフトウェアガイド・ダイジェスト（本書）
Windows のセットアップ方法、リカバリ方法など、『ソフトウェアガイド』から抜粋した内容を記載しています。
なお、お使いの機種以外の情報もありますが、ご了承ください。
- FMV マニュアル（※▶ P.4）
PDF 形式のファイルとして、「ドライバーズ CD / マニュアル CD」に収録しています。
『ハードウェアガイド』や『ソフトウェアガイド』など、本パソコンの使いかたを説明したマニュアルを用意しています。状況に応じてご覧ください。

製品の呼びかた

本書に記載されている製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本書での表記	
Microsoft® Windows® Millennium Edition	Windows Me	Windows
Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION	Windows 98	
Microsoft® Windows® 95 operating system	Windows 95	
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000	
Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0	Windows NT	
ドライバーズ CD / マニュアル CD	ドライバーズ CD	
FMV-610GSL7/6866SL7/6766SL7c	[SL7]	本パソコン パソコン本体
FMV-610GCL7/6866CL7/6766CL7c	[CL7]	

FMV マニュアルの参照

本書に記載されていない内容は、『ハードウェアガイド』および『ソフトウェアガイド』に記載されています。これらは「ドライバーズ CD」内の「FMV マニュアル」（Manual.pdf）からご覧になれます。

重要

- ▶ 周辺機器の取り付けなど、パソコン本体の電源を切ってから行う操作の場合は、事前に該当するページを印刷するか、他の装置で参照してください。
- ▶ 「FMV マニュアル」をハードディスクにコピーして使用する場合は、「ドライバーズ CD」内の「Manual.pdf」と「Manual」フォルダを同一フォルダにコピーしてください。

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。
- 3 CD-ROM のドライブアイコンをダブルクリックし、「Manual.pdf」をダブルクリックします。
Acrobat Reader 4.0 が起動し、目次が表示されます。
- 4 参照したいマニュアルの名称をクリックします。

重要

- ▶ CD-ROM ドライブを搭載していない装置の場合は、他の装置で参照するか、ネットワーク上の共有ドライブで参照してください。

セットアップ

初めて電源を入れたあとに行う Windows の初期設定 (Windows セットアップ) について説明します。必ず、本書の手順に従って操作してください。

Windows セットアップ

次の「留意事項」をよくお読みになり、電源を入れて Windows セットアップを始めます。

■留意事項

- Windows セットアップを行う前に、周辺機器を取り付けな
いでください。
Windows セットアップを行う前に周辺機器を取り付け
ると、Windows セットアップが正常に行われない場合があり
ます。
- Windows セットアップの各ダイアログボックスが完全に表
示されないうちにキーを押すと、Windows セットアップが
正常に行われない場合があります。ダイアログボックスが
完全に表示されてから、マウスで操作してください。
- Windows セットアップの途中で、しばらく操作をしないと、
画面が真っ暗になります。これは、本パソコンの省電力機
能によるものです。本パソコンの電源は切断されていない
ので、電源を切らないでください。電源を切ると、本パソ
コンのデータが壊れ、正常に動作しなくなる場合があります。
- 画面が真っ暗になった場合は、マウスを操作してくださ
い。Windows のセットアップ画面が表示され、操作を続け
ることができます。
- 電源を入れたあと、画面が中央に表示されない場合は、
ディスプレイの設定機能を使用して調整してください。

■セットアップ

- 1 パソコン本体右側面の Product ID (Product Key) を確認
し、書き留めます。
セットアップ中に必要になります。必ず書き留めてくだ
さい。

□□□□ - OEM - □□□□□□ - □□□□□

- 2 本パソコンの電源を入れます (→『ハードウェアガイ
ド・ダイジェスト』参照)。
しばらくすると「Windows 95 セットアップウィザード」
ダイアログボックスが表示されます。

- 3 「名前」と「会社名」を入力します。

POINT

- ▶ 「会社名」は省略できます。
- ▶ 会社などでパソコンを共有して使用する場合は、「名
前」のかわりに部署名などを入力することもできま
す。

- 4 「次へ」をクリックします。

使用許諾契約書が表示されます。
「使用許諾契約書」とは、本パソコンにあらかじめイン
ストールされている Windows を使用するうえでの契約を
記述したものです。

- 5 「使用許諾契約書」をよく読み、「同意する」をクリック
して「次へ」をクリックします。

POINT

- ▶ 「同意しない」をクリックした場合は、「次へ」をク
リックしたあと、メッセージに従って操作してくださ
い。

Product ID (Product Key) を入力するダイアログボク
スが表示されます。

- 6 手順 1 で確認した Product ID (Product Key) を入力し、
「次へ」をクリックします。
「ウィザードの開始」ダイアログボックスが表示されま
す。
- 7 「完了」をクリックします。
「このコンピュータをネットワーク上で識別するた
めに、コンピュータ名とワークグループ名が必要です。」と
表示されます。
- 8 「OK」をクリックします。
「ネットワーク」ダイアログボックスが表示されます。

- 9 「コンピュータ名」と「ワークグループ」を入力し、「閉じる」をクリックします。

重要

- ▶ ここでは、「コンピュータ名」と「ワークグループ」、および「コンピュータの説明」以外の設定を行わないでください。他の設定を行うと、Windows セットアップ中にエラーが発生することがあります。他の設定は Windows セットアップ終了後に行ってください。なお、「コンピュータの説明」は省略することができません。
- ▶ 「コンピュータ名」と「ワークグループ」は半角英数字で入力してください。不明な場合は、ネットワーク管理者に確認してください。
- ▶ 「バージョンの競合」ダイアログボックスが表示されたら、すべて「はい」をクリックしてください。

ファイルのコピー終了後、再起動メッセージが表示されます。

- 10 「はい」をクリックします。

本パソコンが再起動し、「パスワード」を入力するダイアログボックスが表示されます。

- 11 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、「OK」をクリックします。

POINT

- ▶ 「ユーザー名」と「パスワード」は半角英数字で入力してください。不明な場合は、ネットワーク管理者に確認してください。
- ▶ 「パスワード」は省略することができます。
- ▶ 「パスワード」を入力した場合、起動時に毎回「パスワード」を入力する必要があります。「パスワード」は忘れないでください。

「Windows パスワードの設定」ダイアログボックスが表示されます。

- 12 「新しいパスワードの確認入力」にもう一度「パスワード」を入力し、「OK」をクリックします。

「パスワード」を省略した場合は何も入力しないで「OK」をクリックします。

- 13 「日付と時刻のプロパティ」ダイアログボックスが表示されたら、「閉じる」をクリックします。

Microsoft Exchange の設定が行われます。しばらくすると、「プリンタウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

- 14 「キャンセル」をクリックします。

POINT

- ▶ プリンタの設定は、Windows セットアップ終了後に行ってください。Windows セットアップ中に設定を行うと、正しく印刷できないことがあります。

再起動メッセージが表示されます。

- 15 「OK」をクリックします。

本パソコンが再起動し、「ネットワークパスワードの入力」ダイアログボックスが表示されます。

- 16 パスワードを入力し、「OK」をクリックします。

これで、Windows のセットアップが完了しました。

ユーザー登録について

本パソコンのユーザー登録は、2001 年 5 月頃から弊社 Web サイトで行えるようになります。詳しくは、「FM WORLD.NET」(<http://www.fmworld.net/>)にてご案内する予定です。ご了承ください。

Windows 起動ディスクを作成してください

「Windows 起動ディスク」とは、Windows が正しく起動できなくなった場合に、コンピュータを起動するために使うディスクです。

不測の事態に備えて、なるべく早く「Windows 起動ディスク」を作成してください。

「Windows 起動ディスク」の作成には、2HD のフロッピーディスクが 1 枚必要になります。あらかじめ用意してから、「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」アイコンで「起動ディスク」タブの「ディスクの作成」をクリックし、表示されるメッセージに従って作成してください。

ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ 起動ディスクのコピー

本パソコンに添付されている「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」は、必ずディスクコピー（バックアップ）を行って同じ内容のフロッピーディスクを作成してください。そして、コピー元のフロッピーディスクを原本として保管し、バックアップディスクを実際の作業用としてください。ディスクコピーの方法は、次のとおりです。

次のものを用意してください。

- ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク
- ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスクのラベル

- 1.44MB フォーマット済 2HD フロッピーディスク 1 枚 (購入してください)

POINT

- ▶ 再インストールには「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」を使用します。『ファーストステップガイド』に付属している「CD-ROM セットアップ起動ディスク」は使用しないでください。

- 1 「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」をセットします。
- 2 デスクトップ上の「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「3.5 インチ FD (A:)」アイコンを右クリックし、「ディスクのコピー」をクリックします。
「ディスクのコピー」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 「コピー元」と「コピー先」に「3.5 インチ FD (A:)」が選択されていることを確認し、「開始」をクリックします。
このあとは、メッセージに従ってコピーを作成してください。
- 5 コピーが終了したら「閉じる」をクリックします。
- 6 コピーした起動ディスクに、「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」と印刷されたラベルを貼り、書き込み禁止の状態にします。
ラベルには「作業用」と記入し、お使いのパソコンの機種名を記入しておくことをお勧めします。

プログラムが動かなくなったときは

プログラムが動かなくなってしまったときは、次のように対処してください。

- 1 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。
「プログラムの強制終了」ダイアログボックスが表示されます。
- 2 動かなくなったプログラムをクリックし、「終了」をクリックします。
プログラムが強制終了されます。
もし上記操作で強制終了できないときは、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押す操作を 2 回繰り返して、Windows を強制的に再起動させてください。

この方法で再起動できないときは、電源スイッチを 4 秒以上押し電源を切り、10 秒以上待ってから本パソコンの電源を入れてください。

Windows が正常に起動しないときは

次のどちらかの操作を行ってください。

- 「ドライバーズ CD」に入っている「QT-PC/U」という診断プログラムでパソコンの診断をしてください。
診断後にエラーコードが表示された場合は、メモなどに控えておき、お問い合わせの際にお知らせください。
診断時間は通常 5 ～ 10 分程度ですが、診断するパソコンの環境によっては長時間かかる場合があります。

POINT

- ▶ 「QT-PC/U」によるパソコンの診断は、内蔵 CD-ROM ドライブから実行できます。外付け CD-ROM ドライブからは、実行できません。

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 本パソコンの電源を一度切り、再び電源を入れます。
- 3 「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されたら、すぐに【F12】キーを押し続けます。
メニューが表示されます。
- 4 CD-ROM を選択し、【Enter】キーを押します。
自動的に診断が開始されます。診断は 6 項目について行われ、各項目の診断結果が画面の「STATUS」の部分に表示されます。
 - ・ 診断でエラーが発生した場合は、「STATUS」部に「ERROR」と表示され、画面の「Message Display」部に 8 桁のエラーコードが表示されます。
お問い合わせの際は、表示されたエラーコードをお知らせください。
 - ・ 診断でエラーが発生しなかった場合は、「STATUS」部に「NO ERROR」と表示されます。
- 5 診断が終了し、画面の「Message Display」部に次のように表示されたら、CD-ROM を取り出します。
Eject CD-ROM.
Press Ctrl + ALT + DEL for power off
- 6 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。
- 7 次のように表示されたら、【Enter】キーを押します。
[Ctrl+ALT+DEL Push] -> Power off execute ok (ENTER)?
約 5 秒後に電源が切れます。
ただし、機種によっては次のように表示され、自動的に電源が切れない場合があります。
Please power off manually
この場合は、パソコン本体の電源を切ってください。

上記の操作でエラーが発生しなかった場合は、「再インストール」(▶ P.9) をご覧になり、本パソコンをご購入時の状態に戻してください。

それでも解決しない場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入元にご連絡ください。

- Safe モードで起動し、ディスプレイドライバを変更してください。

手順は次のとおりです。

- 1 本パソコンの電源を入れます。
- 2 「Starting Windows 95 ...」と表示されたら、【F8】キーを押します。
「Microsoft Windows 95 Startup Menu」が表示されます。
- 3 「3. Safe mode」を選択し【Enter】キーを押します。

POINT

- ▶ 「キーボードのタイプを判定します。」と表示されたら、【半角／全角】キーを押します。

しばらくすると、「デスクトップ」ダイアログボックスが表示されます。

- 4 「OK」をクリックします。
- 5 デスクトップで右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 6 「ディスプレイの詳細」タブの「詳細プロパティ」をクリックします。
「ディスプレイの詳細プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 7 「アダプタ」タブの「変更」をクリックします。
「デバイスの選択」ダイアログボックスが表示されます。
- 8 「すべてのデバイスを表示」をクリックします。
- 9 「製造元」を「(スタンダードディスプレイ)」に、「モデル」を「スタンダードディスプレイアダプタ (VGA)」に設定し、「OK」をクリックします。
- 10 すべてのダイアログボックスを閉じ、メッセージに従って本パソコンを再起動します。

このあと、ディスプレイドライバをインストールしてください (▶ P.18)。

POINT

- ▶ 再起動後に、「ディスプレイに問題があります。」と表示されたときは、「画面のプロパティ」ダイアログボックスで色数を 16 色に設定して、本パソコンを再起動してください。
- ▶ 「OK」をクリックするとハードウェアウィザードが始まります。」と表示されたときは、必ず「キャンセル」をクリックしてください。

再インストール

どうしても Windows が正常に動かなくなった場合、Windows が起動しないなどの問題が発生した場合、「再インストール」という作業を行います。

お使いの機種を「製品の呼びかた」(●▶ P.4) で確認のうえ、作業を行ってください。

再インストールは次の順番で行います。

分類	名称	用意するもの	必要性	備考
インストールの準備	起動ディスクの修正	ドライバーズCD用CD-ROMセット アップ起動ディスク	必要に応じて	区画数を変えた場合、または増設ハードディスクユニットを取り付けた場合
	標準搭載以外のCD-ROMドライブ使用の設定			標準搭載以外のCD-ROMドライブ使用時
	ハードディスクの圧縮の解除			ハードディスク圧縮時
	区画の作成／変更			－
OS/ ドライバのインストール	Windows 95 新規インストール	・ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク ・Windows 95 オペレーティングシステム CD ・ドライバーズ CD	必須	－
	マザーボード インフォメーションファイル	ドライバーズ CD		－
	USB サポート			－
	マザーボード インフォメーションファイル			再度インストールすること
	DMA 修正モジュール			－
ドライバおよびユーティリティのインストール	LAN ドライバ	・ドライバーズ CD ・Windows 95 オペレーティングシステム CD	必須	－
	DirectX8.0	ドライバーズ CD		ディスプレイドライバの前にインストールすること
	ディスプレイドライバ			DirectX8.0 のあとにインストールすること
	光磁気ディスクドライバ			〔SL7〕のみ（カスタムメイドオプションで光磁気ディスクユニット選択時）
	SCSI ドライバ			カスタムメイドオプションで SCSI カード選択時
	3 モードフロッピーディスクドライバ	ドライバーズ CD	必要に応じて	1.2MB フォーマットフロッピーディスク使用時
	プリンタの設定			対象プリンタ使用時
ブレイインストールソフトのインストール	Internet Explorer 4.01 SP2	ドライバーズ CD	必須	－
	WinDiag			－
	Acrobat Reader		必要に応じて	－
	FM 一発修正			－
添付ソフトのインストール	Internet Explorer 3.02	Windows 95 オペレーティングシステム CD	必要に応じて	－
	Virus Scan	ドライバーズ CD		－
	はじめよう！インターネット（@nifty）			－
	MS-IME 97A			－
ソフトウェアライブラリのアップデート	ソフトウェアライブラリ	ドライバーズ CD	必須	ドライバやアプリケーションのインストール後

POINT

- ▶ 再インストールを行っても、ご購入時と全く同じ状態には戻りません。
- ▶ 添付の「ドライバーズ CD」には、機種によっては使用できないソフトウェアも含まれています。本章をご覧になり、正しいソフトウェアを使用してください。誤ったソフトウェアをインストールしてしまった場合、正しく動作しないだけでなく、すべてのソフトウェアを再インストールしなければならないことがあります。
なお、「ドライバーズ CD」のルートディレクトリに「本 CD について (Indexcd. htm)」という表がありますので、あわせてご覧ください。
- ▶ 「必要性」に「必須」とあるものをすべてインストールすると、OS 追加プログラム (→『ソフトウェアガイド』参照) はすべてインストールされます。

インストールの準備

■留意事項

- 区画の再設定を行うことにより、ハードディスクの内容が消えてしまうことがあります。あらかじめ必要なデータはバックアップしておいてください。
- Windows のインストールを行うと、C ドライブのファイルはすべて削除されます。必要に応じて事前にバックアップを行ってください。
- 周辺機器を取り付けているときは、それらをいったん取り外し、ご購入時の状態に戻してください。
- 内蔵 CD-ROM ドライブ以外をお使いの場合は、あらかじめ SCSI 規格の外付け CD-ROM (別売) などをご用意ください。

ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ 起動ディスクについて

POINT

- ▶ 再インストールには「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」を使用します。『ファーストステップガイド』に付属している「CD-ROM セットアップ起動ディスク」は使用しないでください。

次のいずれかに該当する場合、CD-ROM ドライブ名を変更する必要があります。

- 現在使用中のハードディスクで、ご購入時の状態から区画数を変更する場合
- 新規に購入したハードディスクを増設する場合

- カスタムメイドオプションで光磁気ディスクドライブを選択した場合

変更する方法は次のとおりです。エディタ (メモ帳など) を使用して、網かけの部分を、変更する CD-ROM ドライブ名に修正してください。Autoexec.bat と Drvcopy.inf は、「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」のルートディレクトリにあります。

- 1 「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」をディスクコピーし、バックアップディスクを 1 枚作成します (→ P.6)。

以降の作業では、バックアップディスクを「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」として使用してください。

- 2 バックアップディスク内の Autoexec.bat と Drvcopy.inf の下線の部分を修正します。

・ Autoexec.bat (1 箇所)

@ECHO OFF

PATH=A:¥

REM *****CD-ROM ドライブレター設定 *****

SET CDDRV=E

・ Drvcopy.inf (3 箇所)

[SourceDisksNames]

:

99="%syscd%" ,5,E:¥WIN95

98="%systemcd%" ,5,E:¥

:

[RM.Auto.upd]

CmdAdd=MSCDEX.EXE, "/D:OEMCD001 /L:E"

標準搭載以外の CD-ROM ドライブを使うには

- 1 「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」をディスクコピーし、バックアップディスクを 1 枚作成します (→ P.6)。

- 2 本パソコンの電源を切り、バックアップディスクを書き込み可能な状態でセットし、本パソコンの電源を入れます。

「Windows 95 セットアップメニュー」画面が表示されます。

- 3 [3] キーを押します。

MS-DOS プロンプトが表示されます

- 4 バックアップディスクから不要なファイルを削除します。

バックアップディスクに入っている次のファイルを削除します。

OAKCDROM. SYS

- 5 バックアップディスクに必要なファイルをコピーします。
- コピーするファイルについては、それぞれの CD-ROM ドライブに添付されているマニュアルなどをご覧ください。
- 6 Config.sys を修正します。
- バックアップディスクの Config.sys の該当箇所 (xxxxx) を使用するドライブ名に変更してください。

```
REM[CD-ROM Drive]
DEVICE=xxxxx.SYS /D:OEMCD001
```

ハードディスクの圧縮を解除する

ドライブスペースで圧縮されたドライブがハードディスクに存在する場合、Windows をインストールできません。圧縮を解除してから Windows をインストールしてください。

Windows が起動できないなどの理由で圧縮を解除できない場合は、次の操作を行ってください。

- 1 「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」をセットし、本パソコンの電源を入れます。
 - 2 メニューが表示されたら、【3】キーを押します。
- MS-DOS プロンプトが表示されます。
- 3 ハードディスク内に保存したいファイルがある場合は、フロッピーディスクドライブに保存用のフロッピーディスクをセットし、バックアップします。
- 手順 4 の操作を行うと、ハードディスクの内容を保存することができなくなります。必要なファイルは、必ずバックアップしてください。
- 4 次のように入力し、【Enter】キーを押します。
- ```
del dbpspc [ホストドライブ]:
```
- ファイルが削除されます。
- 5 本パソコンの電源を切ります。

## ハードディスクの領域を設定する

次に該当する場合、ハードディスクの領域を設定する必要があります。

- 現在のハードディスク領域を変更したいとき

### 重要

- ▶ 区画の設定をご購入時から変更した場合、CD-ROM ドライブ名が変わり、「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」が使用できなくなることがあります。この場合、「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ 起動ディスクについて」(▶▶ P.10) を参照して、CD-ROM ドライブ名を変更してください。

- ▶ 区画の設定を行うと、ハードディスク上のデータは失われます。区画の設定を行う前に、必要なデータはバックアップしてください。
- ▶ Windows をインストールする区画には、最低 500MB 以上の空き容量を用意してください。
- ▶ 増設したハードディスクの区画設定は、Windows のインストール後に行うことをお勧めします。

## ■ハードディスク領域の概要

まず、ハードディスク領域の概要を説明します。

### □基本 MS-DOS 領域と拡張 MS-DOS 領域

ハードディスク領域には、次の 2 種類があります。

#### ●基本 MS-DOS 領域

OS をインストールするために必要な領域です。プライマリマスターに接続されたハードディスク (標準内蔵のハードディスク) の基本 MS-DOS 領域は、起動ドライブ (C ドライブ) になります。

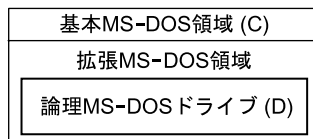
#### ●拡張 MS-DOS 領域

アプリケーションやデータを格納するための領域です。基本 MS-DOS 領域を設定している場合は、残りの領域すべてが拡張 MS-DOS 領域になります。

拡張 MS-DOS 領域内には、論理 MS-DOS ドライブを作成する必要があります。論理 MS-DOS ドライブを作成することで、拡張 MS-DOS 領域にドライブ名 (D、E、F …) が割りふられます。論理 MS-DOS ドライブは複数 (最高 23 個) 作成できます。

### POINT

- ▶ 本パソコンご購入時にはプライマリマスターのハードディスクに、基本 MS-DOS 領域と拡張 MS-DOS 領域が設定され、拡張 MS-DOS 領域全体が 1 つの論理 MS-DOS ドライブに設定されています。



## □FAT16 と FAT32

ハードディスクの領域を設定する場合に、ファイルの管理形式として FAT16 または FAT32 のどちらかを選択できます。FAT16 は最大 2GB までしかドライブを管理できません。そのため、2GB を超える領域を作成したい場合は FAT32 を使用します。しかし、FAT32 をサポートしていない OS (MS-DOS や Windows NT 4.0 など) から FAT32 でフォーマットしたハードディスクを認識できません。このため、MS-DOS で作成された起動フロッピーからインストールを行うアプリケーションの場合、インストールに失敗するなどの問題が発生することがあります。

### POINT

▶ Windows のインストールは、FAT16、FAT32 のいずれのファイルシステムに対しても実行できます。

## ■ハードディスクの領域を設定するうえでの留意事項

ハードディスクの領域を設定する前にお読みください。

- 領域を削除したり容量を変更したりすると、領域内のファイルはすべて削除されます。必要に応じて事前にバックアップをとってください。
- 基本 MS-DOS 領域は、Windows のインストールに必要な領域 (最低 1GB) に設定してください。

## ■ハードディスクの領域を設定する

領域の設定には、FDISK コマンドを使用します。

手順の流れを確認後、FDISK を起動してください。

### □手順の流れ

#### 1 FDISK で必要に応じて領域を削除する

削除は次の順番で行います。

1. 拡張MS-DOS領域内の論理MS-DOSドライブの削除
2. 拡張 MS-DOS 領域の削除
3. 基本 MS-DOS 領域の削除

#### 2 FDISK で領域を作成する

削除と逆の順番で行います。

#### 3 ドライブをフォーマットする

Windows をインストールするドライブは、インストール中にフォーマットされますので、フォーマットの必要はありません。

### □FDISK の起動方法と概要

FDISK は、次の手順で起動してください。なお、Windows がインストールされている環境で増設ハードディスクの領域を設定する場合は、Windows の MS-DOS プロンプトで「fdisk」と入力し、【Enter】キーを押してください。

- 1 「ドライバズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」をセットします。
- 2 本パソコンを再起動します。  
「Windows 95 セットアップメニュー」が表示されます。

#### 3 【2】キーを押します。

「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか...?」と表示されます。

#### 4 FAT16 を使用する場合は【N】キーを、FAT32 を使用する場合は【Y】キーを押して、【Enter】キーを押します。 「FDISK オプション」画面が表示されます。

#### 5 次の説明と画面のメッセージを参照し、領域を設定します。

- ・ MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成  
基本 MS-DOS 領域、拡張 MS-DOS 領域、拡張 MS-DOS 領域内に論理 MS-DOS ドライブを作成する場合に選択します。
- ・ アクティブな領域を設定  
基本 MS-DOS 領域をアクティブ (領域に OS をインストールしたら起動できる状態) にする場合に選択します。なお、基本 MS-DOS 領域に使用できる最大サイズを割り当てた場合は、自動的にアクティブに設定されます。アクティブな領域は、「状態」に「A」と表示されます。

### 重要

- ▶ 基本 MS-DOS 領域 (領域 C) をアクティブに設定しないと、ハードディスクから起動できません。基本 MS-DOS 領域は、必ずアクティブに設定してください。

- ・ 領域または論理 MS-DOS ドライブを削除  
すでに設定されている基本 MS-DOS 領域、拡張 MS-DOS 領域、拡張 MS-DOS 領域内の論理 MS-DOS ドライブを削除する場合に選択します。
- ・ 領域情報を表示  
現在の設定を確認する場合に選択します。
- ・ 現在のハードディスクドライブを変更 (ハードディスクを増設している場合に表示されます)  
FDISK を起動すると、プライマリマスターのハードディスクを設定できる状態になります。これを増設したハードディスクに切り換える場合に選択します。

## OS / ドライバのインストール

ここでは、Windows のインストールについて説明します。

Windows をインストールし直すようにメッセージが表示されたり、ソフトウェアが起動しないなどの現象が起こったりしたら、Windows の再インストールを行ってください。

なお、Windows のインストールは、ハードディスクの領域の容量を変えるなど、環境を変えて行うこともできます。

### POINT

- ▶ インストールを行う前に、モデムやプリンタなどの周辺装置を取り付けている場合は、それらを一度取り外し、ご購入時の状態に戻してからインストールを行ってください。インストールが終了したあとで、再度周辺装置を取り付けてください。
- ▶ カスタムメイドオプションで光磁気ディスクドライブを選択した場合、またハードディスクを増設して CD-ROM ドライブ名が変更されている場合は、「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ 起動ディスクについて」(▶ P.10) を参照して、ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ 起動ディスクの CD-ROM ドライブ名を変更してください。
- ▶ 貴重なデータなどがある場合は、必ずバックアップをとってからインストールを始めてください。

## Windows の新規インストール

新規インストールは、ハードディスクをフォーマットしたあと、Windows をインストールします。アプリケーションや各種ドライバの情報は失われますので、Windows のインストール後にアプリケーションや各種ドライバを再インストールしてください。

次のものを用意してください。

- Windows 95 オペレーティングシステム CD
- ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ 起動ディスク
- ドライバーズ CD

### 重要

- ▶ 再インストールには「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ 起動ディスク」を使用します。「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ 起動ディスクのコピー」(▶ P.6) を参照してバックアップディスクを作成し、以降の作業ではバックアップディスクを使用してください。『ファーストステップガイド』に付属している「CD-ROM セットアップ 起動ディスク」は使用しないでください。

## ■ Windows のインストール

### 1 BIOS の設定をご購入時の設定に戻します。

ご購入時の設定に戻すには、BIOS セットアップ(▶『ハードウェアガイド・ダイジェスト』参照) の設定を初期値に戻し、次の設定を行ってください。

- ・「詳細」メニュー「その他の内蔵デバイス設定」→「サウンドコントローラ」:  
使用しない

### POINT

- ▶ BIOS セットアップの設定をご購入時と異なる設定にしていると、インストール時にエラーメッセージが表示されることがあります。

### 2 「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ 起動ディスク」をセットし、本パソコンを再起動します。

「Windows 95 セットアップメニュー」画面が表示されます。

### POINT

- ▶ 新規インストールを行うと、ハードディスク上のデータは失われます。新規インストールを行う前に、必要なデータはバックアップしてください。
- ▶ ハードディスクの区画を設定する場合は、「ハードディスクの領域を設定する」(▶ P.11) を参照して先に設定を行ってから、新規インストールを行ってください。

### 3 【1】キーを押します。

- 4 「Windows 95 オペレーティングシステム CD」をセットし、BUSY ランプが消えてから【Y】キーを押します。「注意! ドライブ C: のハードディスクのデータはすべてなくなります。フォーマットしますか (Y/N) ?」というメッセージが表示されます。

### 5 【Y】キーを押し、【Enter】キーを押します。

ハードディスクのフォーマットが始まり、しばらくすると「ボリュームラベルを入力してください。」と表示されます。

### 6 「ボリュームラベル」を入力し、【Enter】キーを押します。

「ボリュームラベル」は省略してもかまいません。

次のポイントを参照しながらメッセージに従って Windows セットアップを続けてください。

## POINT

- ▶ フォーマットされていないドライブがある場合は、フォーマットを促す画面が表示されます。「フォーマットする（推奨）。」を選択してドライブをフォーマットしてください。ドライブのフォーマット後に Windows セットアップが続行されます。
  - ▶ インストールを中止する場合は、【Esc】キーを押してください。
  - ▶ あとに続く操作手順は、Windows のインストール先やセットアップ方法などを設定するダイアログボックスですべて初期値が選択されたことを前提として説明しています。
  - ▶ Windows セットアップの各ダイアログボックスが完全に表示されないうちにキーを押すと、Windows セットアップが正常に行われない場合があります。ダイアログボックスが完全に表示されてから、マウスで操作してください。
  - ▶ Product ID (Product Key) を入力する画面が表示されたら、セットアップ時に書き留めた Product ID (▶▶ P.5) を入力してください。
  - ▶ 「起動ディスク」ダイアログボックスでは、「いいえ」をクリックしてください。本パソコンでは、「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」で代用できます。
- 7** 「コピー完了」ダイアログボックスが表示されたら、フロッピーディスクを取り出し、「完了」をクリックします。  
本パソコンが再起動し、しばらくして「日付と時刻のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 8** 「閉じる」をクリックします。  
「プリンタウィザード」ダイアログボックスが表示されます。
- 9** 「キャンセル」をクリックします。  
再起動メッセージが表示されます。
- 10** 「OK」をクリックします。  
本パソコンが再起動し、「ようこそ」ダイアログボックスが表示されます。
- 11** 「閉じる」をクリックし、CD-ROM を取り出します。

ここからは本パソコンに合わせて Windows の設定を行います。

## ■キーボードの種類の設定

- 1** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。  
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 2** 「キーボード」アイコンをダブルクリックします。  
「キーボードのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 3** 「情報」タブの「変更」をクリックします。
- 4** 「すべてのデバイスを表示」をクリックし、「モデル」から「106 日本語 (A01) キーボード (Ctrl + 英数)」をクリックし、「OK」をクリックします。

## POINT

- ▶ Windows 95 の CD を要求された場合は、「OK」をクリックし「ファイルのコピー元」に「c:\windows\options\cabs」と指定し、「OK」をクリックしてください。


「キーボードの種類」が変更されます。


- 5** 「閉じる」をクリックします。  
再起動メッセージが表示されます。
- 6** 「はい」をクリックします。  
本パソコンが再起動します。

## ■機種情報の設定

- 1** 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3** 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]:%oemcopy.bat  
処理を選択する画面が表示されます。

## POINT

- ▶ MS-DOS プロンプト画面が見つからない場合は、ウィンドウの右上の  をクリックしてください。

- 4** 【1】キーを押します。
- 5** MS-DOS プロンプトのタイトルバーに「完了」と表示されたら、右上の  をクリックします。
- 6** 本パソコンを再起動します。

## ■MS-DOS モードの CD-ROM ドライバを使用しない設定

外付け CD-ROM ドライブを使用する場合、この操作は必要ありません。

Windows を新規インストールすると、MS-DOS モード用の CD-ROM ドライバがインストールされます。MS-DOS モードで CD-ROM を使用しない場合は次の操作を行ってください。



- 1 エディタ(メモ帳など)で C:\CONFIG.SYS を開き、CD-ROM デバイスの行に「rem 」(空白含む)を追加し、同名で保存します。

```
DEVICE=C:\Realmode\OAKCDROM.SYS /D:OEMCD001 ...
↓
rem DEVICE=C:\Realmode\OAKCDROM.SYS /D:OEMCD001 ...
```

- 2 本パソコンを再起動します。

## マザーボードインフォメーションファイルのインストール

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROMドライブ]:¥cset815e¥setup.exe  
「Welcome」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 「Next」をクリックします。  
「Software License Agreement」ダイアログボックスが表示されます。
- 5 「Yes」をクリックします。  
「Readme Information」ダイアログボックスが表示されます。
- 6 「Next」をクリックします。  
「Setup Complete」ダイアログボックスが表示されます。
- 7 「Yes, I want to restart my computer now.」をクリックし、「Finish」をクリックします。  
本パソコンが再起動します。新しいハードウェアが検出され、再び再起動メッセージが表示されます。
- 8 「はい」をクリックします。  
本パソコンが再起動します。

続けて USB サポートのインストールを行ってください。

## USB サポートのインストール

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROMドライブ]:¥usb¥usbsupp.exe  
「Microsoft 追補版 USB をインストールしますか?」と表示されます。
- 4 「はい」をクリックします。

- 5 「使用許諾契約」をよく読み、同意するなら「はい」をクリックします。

スキャンディスク実行後、ファイルがコピーされます。ファイルのコピー終了後、終了メッセージが表示されます。

- 6 「OK」をクリックします。  
本パソコンが再起動します。
- 7 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 8 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROMドライブ]:¥usb¥usbupd2.exe

### POINT

▶ 「バージョンの競合」ダイアログボックスが表示されたら、「はい」をクリックしてください。

- 9 ハードディスクのアクセス表示ランプと CD-ROM ドライブの BUSY ランプが消えたら、本パソコンを再起動します。


USB サポートのインストール後、再度マザーボードインフォメーションファイルのインストールを行ってください。

## マザーボードインフォメーションファイルのインストール

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROMドライブ]:¥cset815e¥setup.exe  
「Welcome」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 「Next」をクリックします。  
「Software License Agreement」ダイアログボックスが表示されます。
- 5 「Yes」をクリックします。  
「Readme Information」ダイアログボックスが表示されます。
- 6 「Next」をクリックします。  
「Setup Complete」ダイアログボックスが表示されます。
- 7 「Yes, I want to restart my computer now.」をクリックし、「Finish」をクリックします。  
本パソコンが再起動します。新しいハードウェアが検出され、再び再起動メッセージが表示されます。
- 8 「はい」をクリックします。  
本パソコンが再起動します。

## ハードディスクの DMA の設定

標準搭載のハードディスクは、高速なデータ転送を実現する UltraDMA/66 に対応しています。標準搭載のハードディスクに Windows を再インストールした場合は、インストール終了後に、次の方法でハードディスクの DMA を設定してください。

- 1 「ドライバズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOS プロンプト」の順にクリックします。
- 3 次のように入力し、【Enter】キーを押します。  
copy [CD-ROM ドライブ]:¥dma¥esdi\_506.pdr  
c:¥windows¥system¥iosubsys  
上書きを確認するメッセージが表示されます。
- 4 【Y】キーを押し、【Enter】キーを押します。
- 5 ウィンドウの右上の  をクリックし、本パソコンを再起動します。
- 6 デスクトップ上の「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 7 「デバイスマネージャ」タブの「ディスクドライブ」をダブルクリックします。  
接続されているディスクドライブの一覧が表示されます。
- 8 ディスクドライブの一覧から「GENERIC IDE DISK TYPExx」（標準搭載のハードディスク）をダブルクリックします。  
「GENERIC IDE DISK TYPExx のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 9 「設定」タブをクリックします。  
「現在のドライブ:」に C: があることを確認してください。もし、C: ドライブがない場合は、標準搭載のハードディスク以外を選択しています。「キャンセル」をクリックして再度ディスクドライブをダブルクリックしてください。
- 10 「オプション」の「DMA」をチェックし、「OK」をクリックします。  
「システムのプロパティ」ダイアログボックスに戻ります。
- 11 「OK」をクリックします。  
再起動メッセージが表示されます。
- 12 「はい」をクリックします。  
本パソコンが再起動します。

## POINT

- ▶ CD-ROM ドライブについては、「システムのプロパティ」ダイアログボックスの「デバイスマネージャ」タブで、DMA を設定して使用できます（▶『ソフトウェアガイド』参照）。
- ▶ [SL7] のカスタムメイドオプションで選択した光磁気ディスクドライブ（ATAPI）については、DMA を設定しないでください。正常な動作が保証されなくなる場合があります。

## 西暦 2000 年問題に関する留意事項

この時点では、まだ西暦 2000 年問題を修正するプログラムはインストールされていません。このプログラムは、Internet Explorer 4.01 SP2 をインストールした後でインストールします。



## ドライバおよびユーティリティーのインストール

Windows のインストールが終了したら、必要に応じて次のインストールを行ってください。

### POINT

- ▶ ここでの説明は、本パソコンがご購入時の状態（周辺装置などを取り付けていない状態）であることを前提としています。

次のものを用意してください。

- Windows 95 オペレーティングシステム CD
- ドライバーズ CD

## LAN ドライバのインストール

- 1 デスクトップ上の「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。  
「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 2 「デバイスマネージャ」タブの「その他のデバイス」をダブルクリックします。
- 3 「PCI Ethernet Controller」をクリックし、「削除」をクリックします。  
「デバイス削除の確認」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 「OK」をクリックします。

### POINT

- ▶ 「このデバイスを安全に削除できるかどうか判定できません。」と表示された場合は、「テストする」をクリックしてください。
- 5 「閉じる」をクリックします。
  - 6 本パソコンを再起動します。  
「デバイスドライバウィザード」ダイアログボックスが表示されます。
  - 7 「ドライバーズ CD」をセットし、「次へ」をクリックします。
  - 8 「場所の指定」をクリックし、「場所」に次のように入力して「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]:¥lan
  - 9 「完了」をクリックします。  
「Intel PRO Adapter CD-ROM or floppy disk」を要求するメッセージが表示されます。

- 10 「OK」をクリックし、「ファイルのコピー元」に次のように入力して「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:¥lan

ファイルのコピーが始まり、「このコンピュータをネットワーク上で識別するために、コンピュータ名とワークグループ名が必要です。」と表示されます。

### POINT

- ▶ Windows のインストールですでに設定済みの場合は、上記メッセージは表示されません。手順 13 へ進んでください。
- ▶ 「バージョンの競合」ダイアログボックスが表示されたら、すべて「はい」をクリックしてください。


- 11 「OK」をクリックし、コンピュータ名とワークグループ名を入力します。

- 12 「閉じる」をクリックします。

### POINT

- ▶ Windows 95 の CD-ROM を要求されたら、「c:¥windows¥options¥cabs」と指定し、「OK」をクリックしてください。
- ▶ 「バージョンの競合」ダイアログボックスが表示されたら、すべて「はい」をクリックしてください。

再起動メッセージが表示されます。

- 13 「はい」をクリックします。  
本パソコンが再起動し、「ネットワークパスワードの入力」ダイアログボックスが表示されます。
- 14 ユーザー名とパスワードを入力し、「OK」をクリックします。  
「Windows パスワードの設定」ダイアログボックスが表示されます。
- 15 「新しいパスワードの確認入力」に再度パスワードを入力し、「OK」をクリックします。
- 16 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOS プログラム」の順にクリックします。
- 17 次のように入力し、【Enter】キーを押します。  
[CD-ROM ドライブ]:¥lan¥i55xset.exe
- 18 ウィンドウの右上の  をクリックし、本パソコンを再起動します。

## DirectX8.0 のインストール

### POINT

▶ ディスプレイドライバをインストールする前に必ずインストールしてください。

- 1 「ドライバズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROMドライブ]:¥dx8¥dx80pk.exe
- 4 ハードディスクのアクセス表示ランプと CD-ROM ドライブの BUSY ランプが消えたら、本パソコンを再起動します。

## ディスプレイドライバのインストール

### POINT

▶ ディスプレイドライバをインストールする前に、DirectX8.0 を必ずインストールしてください。

- 1 デスクトップ上で右クリックし、「プロパティ」をクリックします。  
「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 2 「ディスプレイの詳細」タブの「詳細プロパティ」をクリックします。  
「ディスプレイの詳細プロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 3 「アダプタ」タブの「変更」をクリックします。  
「デバイスの選択」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 「ディスク使用」をクリックします。  
「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されます。
- 5 「ドライバズ CD」をセットし、「配布ファイルのコピー元」に次のように入力して、「OK」をクリックします。  
[CD-ROMドライブ]:¥i81x
- 6 「すべてのデバイスを表示」をクリックし、「モデル」から「Intel(R) 82815 Graphics Controller」をクリックし、「OK」をクリックします。

### POINT

▶ 「バージョンの競合」ダイアログボックスが表示された場合は、すべて「いいえ」をクリックしてください。

インストールが始まります。

- 7 インストールが終了したら「ディスプレイの詳細プロパティ」ダイアログボックスの「更新」をクリックし、「OK」をクリックします。

- 8 「更新」(または「閉じる」)をクリックします。  
再起動メッセージが表示されます。

### POINT

▶ ディスプレイの指定が表示された場合は「いいえ」をクリックしてください。

- 9 「はい」をクリックします。  
本パソコンが再起動します。

続けてユーティリティーをインストールします。

### ■ユーティリティーのインストール

- 1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 2 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROMドライブ]:¥i81x¥810fjuty.exe  
再起動メッセージが表示されます。
- 3 「はい」をクリックします。  
本パソコンが再起動します。

このあと、ディスプレイが自動的に設定されなかった場合は、ディスプレイの設定を行ってください。

### ■ディスプレイの設定

### POINT

▶ 画面の設定やディスプレイの変更を行うとき、画面表示が消えることがあります。数秒で元に戻ります。

- 1 デスクトップ上で右クリックし、「プロパティ」をクリックします。  
「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 2 「ディスプレイの詳細」タブをクリックします。

### POINT

▶ 「ご使用のディスプレイの種類を指定しないと高い画面解像度は選択できません。」と表示された場合は、「キャンセル」をクリックしてください。

- 3 「詳細プロパティ」をクリックします。
- 4 「モニター」タブの「変更」をクリックします。

### POINT

▶ 「すべてのデバイスを表示」が表示されている場合はそれをクリックしてください。

- 5 お使いのディスプレイをクリックし、「OK」をクリックします。

#### POINT

- ▶ 富士通製のディスプレイをお使いの方で、モデル名がモデル一覧にない場合は、次の操作を行ってください。

1. 「ドライバーズ CD」をセットします。
2. 「ディスク使用」をクリックします。
3. 「配布ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:¥monitor  
富士通製 USB 対応ディスプレイをお使いの場合は、「[CD-ROM ドライブ]:¥jmonusb」と入力してください。

- 6 「更新」をクリックします。

#### POINT

- ▶ 「リフレッシュレート」ダイアログボックスが表示されたら、「OK」をクリックして、「はい」をクリックしてください。

- 7 「OK」をクリックします。
- 8 「画面のプロパティ」で「OK」をクリックし、本パソコンを再起動します。

## 光磁気ディスクドライバのインストール

光磁気ディスクドライバはカスタムメイドで光磁気ディスクユニットを選択しているときに使用します。

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROM ドライブ]:¥mo¥setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作を続けてください。

インストールが終了したら、必要に応じて「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスク」を書き替えてください。詳細は「ドライバーズ CD 用 CD-ROM セットアップ起動ディスクについて」(▶ P.10)をご覧ください。

## SCSI ドライバのインストール

SCSI ドライバはカスタムメイドで SCSI カードを選択しているときに使用します。

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 デスクトップ上の「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。  
「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 3 「デバイスマネージャ」タブの「種類別に表示」をクリックします。
- 4 「SCSI コントローラ」をダブルクリックします。
- 5 「PCI NCR C810 SCSI Host Adapter」をダブルクリックします。  
「PCI NCR C810 SCSI Host Adapter のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- 6 「ドライバ」タブの「ドライバの更新」をクリックします。  
「自動検出をしますか？」というメッセージが表示されます。
- 7 「はい(通常はこちらを選んでください)」をクリックし、「次へ」をクリックします。  
「このデバイス用の更新されたドライバが見つかりませんでした。」というメッセージが表示されます。
- 8 「場所の指定」をクリックします。  
「場所の指定」ウィンドウが表示されます。
- 9 「場所」に次のフォルダ名を入力します。

[CD-ROM ドライブ名]:¥scsi

- 10 「OK」をクリックします。  
「このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました。」というメッセージが表示されます。
- 11 「完了」をクリックします。  
「LSI Logic(Symbios) 8xx Install Disk' ラベルのついたディスクを挿入して [OK] をクリックしてください。」というメッセージが表示されます。
- 12 「OK」をクリックします。  
「ファイルのコピー」ウィンドウが表示されます。
- 13 「ファイルのコピー元」に次のフォルダ名を入力します。  
[CD-ROM ドライブ名]:¥scsi
- 14 「OK」をクリックします。  
ファイルがコピーされます。ファイルのコピー終了後、再起動メッセージが表示されます。
- 15 「はい」をクリックします。  
本パソコンが再起動します。

### 3 モードフロッピーディスクドライバのインストール

---

3 モードフロッピーディスクドライバをインストールすると、1.44MB、1.2MB、720KB のフロッピーディスクの読み書きができます。ただし、1.2MB でフォーマットすることはできません。

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。  
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 3 「ハードウェア」アイコンをダブルクリックします。  
「ハードウェアウィザード」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 「次へ」をクリックします。  
「新しいハードウェアを自動的に検出しますか？」と表示されます。
- 5 「いいえ」をクリックし、「次へ」をクリックします。  
ハードウェアの種類を選択するダイアログボックスが表示されます。
- 6 「ハードウェアの種類」で「フロッピーディスクコントローラ」をクリックし、「次へ」をクリックします。  
製造元とモデルの一覧が表示されます。
- 7 「ディスク使用」をクリックします。  
「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されます。
- 8 「配布ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]: ¥3mode  
モデルの一覧が表示されます。
- 9 「Fujitsu 3-mode Floppy (FMV Series)」をクリックし、「次へ」をクリックします。
- 10 「完了」をクリックします。  
再起動メッセージが表示されます。
- 11 「はい」をクリックします。  
本パソコンが再起動します。

### プリンタの設定

---

#### ■富士通製プリンタの設定

富士通製のプリンタをお使いの場合は、次の操作を行ってください。

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックします。
- 3 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。  
「プリンタウィザード」ダイアログボックスが表示されます。
- 4 「次へ」をクリックします。
- 5 「ローカルプリンタ」または「ネットワークプリンタ」をクリックし、「次へ」をクリックします。
- 6 「ディスク使用」をクリックします。
- 7 「配布ファイルのコピー元」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]: ¥fm!bp
- 8 お使いのプリンタをクリックします。

このあとは、メッセージに従って操作してください。

# プレインストールソフトのインストール


## Internet Explorer 4.01 SP2 のインストール

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]:¥i386¥setup. exe
- 4 「Internet Explorer 4.01 SP2 のインストール」のアイコンをクリックします。  
あとは次のポイントをご覧になり、メッセージに従って操作してください。

### POINT

- ▶ ご購入時は、次の設定でインストールされています。
  - ・ インストールオプション … 完全インストール
  - ・ デスクトップのアップデート … いいえ

インストールが終了すると、再起動メッセージが表示されます。

- 5 「OK」をクリックします。  
本パソコンが再起動します。
- 6 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOS プロンプト」の順にクリックします。
- 7 次のように入力し、【Enter】キーを押します。  
copy c:¥windows¥options¥cabs¥rmm. pdr  
c:¥windows¥system¥iosubsys  
上書きを確認するメッセージが表示されます。
- 8 【Y】キーを押し、【Enter】キーを押します。
- 9 ウィンドウの右上の  をクリックし、本パソコンを再起動します。

Internet Explorer 4.01 SP2 のインストールが終了したら、西暦 2000 年問題修正モジュールと URL Seculity アップデートプログラムをインストールします。「ドライバーズ CD」をセットしたまま操作してください。

## ■西暦 2000 年問題修正モジュールのインストール

### POINT

- ▶ このモジュールは、Internet Explorer 4.01 SP2 をインストールした後でインストールしてください。

- 1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 2 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]:¥y2k¥w95y2k. exe  
使用許諾の画面が表示されます。

- 3 「はい」をクリックします。  
「続行しますか？」と表示されます。
- 4 「はい」をクリックします。  
再起動メッセージが表示されます。
- 5 「OK」をクリックします。  
本パソコンが再起動します。

## ■OutlookExpress 用西暦 2000 年問題修正モジュールのインストール

### POINT

- ▶ このモジュールは、Internet Explorer 4.01 SP2 をインストールした後でインストールしてください。

- 1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 2 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]:¥oey2k¥ja-x86-q234680. exe  
「この修正プログラムをインストールしますか？」と表示されます。
- 3 「はい」をクリックします。  
「この修正プログラムはインストールされました。」と表示されます。
- 4 「OK」をクリックします。  
再起動メッセージが表示されます。
- 5 「はい」をクリックします。  
本パソコンが再起動します。

## ■URL Seculity アップデートプログラムのインストール

- 1 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 2 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]:¥ur lupd¥245729ja5. exe  
「続行しますか？」と表示されます。
- 3 「はい」をクリックします。  
使用許諾の画面が表示されます。
- 4 「はい」をクリックします。  
再起動メッセージが表示されます。
- 5 「はい」をクリックします。  
本パソコンが再起動します。

## Windows 環境調査ツール (WinDiag) のインストール

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]:¥windiag¥setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

## Acrobat Reader のインストール

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]:¥acrobat¥ar405jpn.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

- 4 本パソコンを再起動します。

## FM 一発修正のインストール

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]:¥fmcure¥setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

## ソフトウェアライブラリのアップデート

添付ソフトなど新たにソフトウェアをインストールしたとき、アプリケーションによっては追加された MFC ライブラリをアップデートする必要があります。

### アップデート方法

使用するソフトウェアすべてをインストール後にアップデートしてください (1 つのソフトウェアをインストールするごとにアップデートする必要はありません)。該当する MFC ライブラリが検出・アップデートされます。

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。  
[CD-ROM ドライブ]:¥libupd¥speu.exe
- 4 本パソコンを再起動します。

## 添付ソフトについて

添付ソフトのインストール方法については、『ソフトウェアガイド』をご覧ください。添付ソフトをインストールした場合、必ずインストール後にソフトウェアライブラリのアップデートを実行してください。

Internet Explorer については、プレインストールされている Internet Explorer 4.01 SP2 の使用をお勧めします。

Memo \_\_\_\_\_

Microsoft、Windows、MS、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。  
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。  
その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 2001

このマニュアルは再生紙を使用しています。